


 日本生殖看護学会ニュースレター

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)


 No.55

 . . . 目 次 . . .

・生殖看護の「質」の向上.....	1
・第18回日本生殖看護学会学術集会のご案内.....	2
・研究支援相談会 開催のお知らせ（将来検討委員会）.....	4
・これから行われる学術集会・研修会情報（2020年3月～2020年6月）.....	5
・第10回関西地区勉強会報告.....	6
・2019年生殖看護地区実践セミナー（西日本地区）報告.....	6
・教育推進委員会からのお知らせ.....	7
・理事会報告.....	8



生殖看護の「質」の向上

城西国際大学 清水清美

昨年11月、日本産科婦人科学会・倫理委員会 登録・調査小委員会は、2017年の総生殖補助医療治療数は448,210件、出生した児は56,617人と報告した。年々総出生数が低下していく中、治療周期数も出生数も微増であるが増加を示した。これは同年の総出生数946,065人に対し、16.7人に1人の割合を示し、社会における生殖補助医療のニーズの高さを感じる。

一方、高見澤聡医師（国際医療福祉大学病院 リプロダクションセンター 教授）は、産む世代の女性が減少する中、生殖医療は今後、縮小・統合・集約への方向転換は避けられず、量より質、エビデンスに基づいた適切な医療技術の提供はもとより、個々の事情に配慮したオーダーメイド的な診療やケアの提供が重要視されるターニングポイントにあると指摘した。

昨今、生殖医療を求める対象は、従来の不妊カップルのみならず、第三者の配偶子や胚の提供による妊娠・出産を希望する人、着床前診断・出生前診断を希望する人、がん治療前の妊孕性温存を希望する人など多様で複雑になってきている。また、プレコンセプション世代に向けた情報提供も重要である。各々の施設においてどのような不妊状況、健康状態、ニーズに対応するのか（できるのか）、強みを持つこと・極めること、そしてより専門性の高い他職種や他施設と連携することが求められてくるのかもしれない。

では、看護者が担う「質」の向上とはなんだろう。少しマイノリティな話になるが、私は、提供精子による生殖を検討するカップルとの交流がある。彼らが医療者に求めることには、まずは心情やニーズを否定されることなく受け入れてもらいたい、その上でニュートラルな情報提供を受けたい、そして対象者自身が個々やカップルで、子どもや家族、治療について考え、決定するプロセスを支援してもらいたい、可能な限り日本でできる治療は日本で受けたい、そして「親になる過程において」必要に応じてフォローしてもらいたい等がある。看護者の役割は大きい。個人的見解で恐縮だが、「個々の事情」において折々のニーズにきちんと向き合ってもらっている当事者ほど、その後の結果についてもきちんと受け止めている人が多い様に感じる。

皆様が考える生殖医療における看護者が担う「質」の向上とはなんでしょう？日々の業務からみえる小さなひらめきが大きな発展につながるかもしれません。

第18回日本生殖看護学会学術集会のご案内

テーマ：一人ひとりの多様な価値観と選択肢の支援
会 期：2020年9月13日（日）9：30～16：30
会 場：ホテルモントレ グラスミア大阪 21F JR 難波駅直結
(〒556-0017 大阪市浪速区湊町1丁目2番3号)

第18回日本生殖看護学会学術集会を開催する運びとなりました。

“患者個々の考え（価値観）を尊重しながら、多様な治療の中から適切な選択ができるように支援すること”を目指し、今回のテーマは「一人ひとりの多様な価値観と選択肢の支援」としました。

学術集会当日は、特別講演・基調講演・シンポジウムは初の試みとして2部制とし、多様な観点からの講演を企画し、参加者の皆様とともに多くの学びを得、考える機会になれば幸いに存じます。

また活気溢れる学術集会にしたいと考えておりますので多分な演題を募集しております。企画・実行委員とともに皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第18回日本生殖看護学会学術集会
学術集会長 奥島 美香

●演題募集 *今回は演題募集期間を延長いたしませんので期間内のご応募よろしく申し上げます*
演題申込み締切日：2020年5月15日（金） 抄録申込み締切日：2020年5月22日（金）

●学術集会参加費

会員5,000円、非会員6,000円、学生（大学院生・研修生は除く）1,000円
当日参加：会員6,000円、非会員7,000円、学生（大学院生研修生は除く）2,000円

●事前参加登録

事前登録は、学術集会 HP より2020年8月7日まで
事前登録後に下記口座へ8月14日までに参加費をお振込みくださいますようお願いいたします。

【お振込先】

銀行名：三菱UFJ銀行 堺支店 【店番】202 口座番号：（普通）0211226
口座名：第18回日本生殖看護学会学術集会
ダイジユウハチカイニホンセイシヨク
カンゴガツカイガクジュツシユウカイ

最新の情報は第18回日本生殖看護学会学術集会公式サイト (<https://www.jsfn18.com/>) をご確認ください。

(問い合わせ先)

第18回日本生殖看護学会学術集会事務局

社会医療法人生長会 府中のぞみクリニック

〒594-0071 大阪府和泉市府中町2丁目1番3号 Email:jsfn18@nozomiclinic.com

第18回日本生殖看護学術集会プログラム 案

09:00～	受付開始
09:25～09:30	オリエンテーション
09:30～09:40	開会挨拶 繁田 実 (社会医療法人生長会 府中のぞみクリニック 所長)
09:40～09:55	会長講演 『臨床現場での多様な価値観を支え、治療を選択する支援への一考察』 奥島 美香 (社会医療法人生長会 府中のぞみクリニック)
10:00～11:30	一般演題 (口頭発表および質疑応答) ポスター閲覧
11:30～12:30	特別講演 『生殖医療における遺伝検査のこれからと看護職に求めること』 澤井 英明氏 (兵庫医科大学病院 教授 遺伝子医療部 部長)
12:40～13:40	ランチョンセミナー 2講演
13:45～14:15	総会
14:20～14:40	基調講演 『生殖看護に関わる看護師に求められるコンピテンシー』 野澤 美江子氏 (東京工科大学 医療保健学部 看護学科 教授)
14:40～16:20	シンポジウム 【さまざまな選択肢への支援】 一第1会場一 ～治療終結から新たな選択へ～ 『不妊治療を終結する人への支援 ～妊孕性の限界が近づいた女性へのインタビュー調査から～』 阿部 正子氏 (新潟県立看護大学 母性・助産看護学 准教授) 『血のつながりをこえて親子になる ～不妊治療を経て里親へ』 山上 有紀氏 (公益社団法人 家庭養護促進協会大阪事務所) 『卵子提供を望む患者さんへの支援』 岸本佐智子氏 (NPO 法人 卵子提供登録支援団体 代表) 一第2会場一 ～進化する生殖医療における次なる選択～ 『生殖医療を受ける患者の意識変化—様々な選択肢は彼らに何をもたらしたのか—』 竹田 恵子氏 (大阪大学 人間科学研究科招聘研究員) 『血液悪性疾患治療における妊孕性について～血液内科医の視点から～』 藤 重夫氏 (大阪国際がんセンター 副部長) 『遺伝的課題と共に生きる人々や家族への支援 —生殖看護と遺伝看護—』 青木美紀子氏 (聖路加国際大学大学院看護学研究科 遺伝看護学 准教授)
16:20～16:30	閉会式

*プログラムは予告なく変更する場合があります。ポスターは常時閲覧が可能です

みなさまの演題発表と
ご参加を心よりお待ちしております。
にこまる



生長会・悠人会キャラクター

研究支援相談会 開催のお知らせ（将来検討委員会）

学会に発表したいけど、抄録はどのようにまとめたらいいの？ 事例を検討した結果を発表するにはどうしたらいいの？ ポスターやパワーポイントをわかりやすく作成するコツって？ など、日頃会員の皆様が生殖看護に関する研究について感じている疑問の解決をお手伝いします。研究計画と実施、抄録や論文の書き方、パワーポイントやポスターの作成など、関東・関西・九州地区で個別相談を行いますので、お申し込みお待ちしております。

●テーマ：研究の悩み解決!! 会員のための研究支援相談会

●講師：日本生殖看護学会将来検討委員および理事

●日時と場所：

<東京ブロック>2020年3月20日（金）13時～16時、東京工科大学（東京都大田区）

*参加申込は、2020年3月13日（金）まで

<関西ブロック>2020年4月25日（土）・26日（日）10時～15時、京都橘大学（京都市山科区）

*参加申込は、2020年4月17日（金）まで

<九州ブロック>2020年4月4日（土）13時～16時、産業医科大学（北九州市八幡西区）

*参加申込は、2020年3月28日（土）まで

●参加費：無料

●定員：各会場4～5名（先着）

●申込方法：氏名、所属、会員番号、連絡先電話、メールアドレス、簡単な相談内容を明記の上、それぞれの期限までにメールで申込みください。

●申し込み先・問い合わせ先：日本生殖看護学会将来検討委員長 野澤美江子

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 東京工科大学医療保健学部看護学科

e-mail：nozawa@stf.teu.ac.jp TEL：03-6424-2166（直）

2020年度研究助成のお知らせ

助成金を上限20万円にup

会員の皆様の研究活動を支援するための研究助成制度が、さらに利用しやすくなりました。詳細および申請書類は学会 HP (<https://plaza.umin.ac.jp/jsin/>) をご参照ください。

応募締め切りは**2020年6月30日（火）まで**

研究助成募集要項

【研究助成の趣旨】

生殖看護の実践に関する調査・研究を支援するために会員を対象とし、研究費を助成し、生殖看護の発展を図ることを目的とする。

【助成の対象】

個人または共同の研究者を対象とする。

【応募資格】

1. 研究代表者は会員であって、会員歴2年以上である者。
2. 共同研究者は、申請時に本学会会員である者。

【助成金】

研究助成金は研究計画一編につき**20万円を上限**とし、助成件数は1～2件とする。

【研究助成期間】

2020年9月1日～2021年8月31日までの1年間とする。

【応募方法】

1. 学会所定の研究助成申請書に必要事項を記載し、2部（正1部、副1部）を下記担当者宛に「研究助成申請書在中」と朱書きし、書留で送付する。申請書類は返却しない。
2. 応募受付期間：2020年1月1日（水）～6月30日（火）

【選考及び助成の決定】

研究助成審査会において選考審査の上、2020年8月下旬に応募者に文書で通知する。選考に関する問い合わせには応じられない。

【助成金の使途】

研究活動に必要な物品費、旅費、通信・運搬費、印刷費などを含む。

【研究成果の報告】

1. 助成を受けた者は、研究終了後、その結果を理事長に報告する。
2. 研究成果は2年以内に日本生殖看護学会で発表し、さらに日本生殖看護学会誌に投稿する。
3. 研究成果を他に発表する場合には、日本生殖看護学会の研究助成を受けたことを明記する。

<お問い合わせ・申請書類送り先>

日本生殖看護学会将来検討委員会委員長：野澤美江子

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 東京工科大学医療保健学部看護学科

e-mail: nozawa@stf.teu.ac.jp TEL/FAX 03-6424-2166

これから行われる学術集会・研修会情報（2020年3月～2020年6月）

月	日	学会・研修会名	会場	学会 HP / 運営事務局
3月	21日 ～ 22日	日本助産学会学術集会（第34回） 人生100年時代の助産ケア	朱鷺メッセ 新潟コンベンション センター (新潟県新潟市)	運営事務局 株式会社アド・メディック内 〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野310 TEL: 025-282-7035 FAX: 025-282-7048 E-mail: jam34@admedic.co.jp
	22日	日本産婦人科乳腺医学会（第26回） 乳癌診療を支える懸け橋 一産婦人科医と乳腺科医の未来を繋ぐ絆一	ウインクあいち (愛知県名古屋)	http://www.academiasupport.org/css/ includes_26jbsgo/doc/26jbsgoPoster0723.pdf 第26回日本産婦人科乳腺医学会運営事務局 一般社団法人アカデミアサポート内 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-24-7-920 TEL: 03-5312-7686 FAX: 03-5312-7687 E-mail: 26jbsgo@academiasupport.org
4月	23日 ～ 26日	日本産科婦人科学会学術講演会（第72回）	東京国際フォーラム (東京都千代田区)	http://www.congre.co.jp/jsog2020/index.html 学会事務局 公益社団法人 日本産科婦人科学会 〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目6-18 東京建物京橋ビル4階 E-mail: infocongress@jsog.or.jp
6月	5日	日本不妊カウンセリング学会学術講演会 (第19回) 不妊カウンセリングの原点回帰	ニッショーホール (東京都港区)	http://www.jsinf.com/
	6日 ～ 7日	不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター 養成講座（第46回）	ニッショーホール (東京都港区)	http://www.jsinf.com/
	20日 ～ 21日	日本保健医療行動科学会学術大会（第35回） 医療者が当事者性を持つことの意義を問う	関西医科大学 (大阪府枚方市)	http://www.jahbs.info/taikai35.html 大会事務局 35回日本保健医療行動科学会学術大会実行 委員会事務局 〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目2番2号 関西医科大学看護学部看護学研究科内 Email: 35jahbs@gmail.com
	28日	日本母性看護学会学術集会（第22回） 母性を支える看護力-叡智を实践へ	北里大学白金キャンパス (東京都港区)	https://bosei22.secand.net/ 第22回日本母性看護学会学術集会事務局 北里大学看護学部（母性看護・助産学） TEL: 042-778-9361 E-mail: jsmn22@nrs.kitasato-u.ac.jp

少役立つ」と回答した。講義では、「最新の不妊治療の実際を映像で学ぶことができた」「臨床でとても生かしやすい内容だった」「食生活習慣への関心が高まった」「食事指導は毎回悩むことが多く参考になった」「食事バランスガイドに沿ってまずは自分の食事について見直していただけるよう一緒に対象者と考えていきたい」等の意見があった。また、十分な質疑応答の時間があって良かったとの記載もあった。他にもセミナーや勉強会は関東や関西が多く西日本地区ではなかなか機会がない。このような最新情報の提供や共有の機会をこれからもお願いしたいといった意見もあり、今後も広く学びの機会を提供し、継続する必要性を感じました。今回セミナー開催に際し本学会よりご支援をいただきましたことに感謝を申し上げご報告とさせていただきます。

2019年西日本地区実践セミナー支援メンバー

村上貴美子（教育推進委員会西日本地区幹事、CN）・實崎美奈（産業医科大学）

松尾則子（井上善レディースクリニック、CN）・久保島美佳（蔵本ウイメンズクリニック、CN）

加來久美（フラウエンハウス加來・助産院、CN）・手島しおり（セントルカ産婦人科、CN）

※このセミナーは日本生殖看護学会から講師謝金2名分（6万円）の助成を受けて開催いたしました。

教育推進委員会からのお知らせ

生殖看護地区実践セミナーの助成

54回のニュースレターでご案内しましたように、生殖看護地区実践セミナーは、企画案により、学会から最大7万円の補助がでます。補助金の使用用途の範囲は、会場費（設備費を含む）、講師費、資料代、スタッフ交通費等です。

日本生殖看護学会第1回生殖看護ポストコースの開催

2020年から学会主催のポストコースを開始いたします。不妊症看護認定看護師の皆様の連帯と知識・技術・意識のupdateを目標に実施していきたいと考えております。たくさんの方の参加をお待ちしています。

【日 時】2020年9月12日（土）13:45～16:50（受付開始 13:15）

【場 所】関西大学梅田校舎

（阪急「梅田駅」茶屋町側から徒歩5分、JR「大阪駅」から徒歩10分）

〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町1番5号

【対 象】不妊症看護認定看護師

【テーマ】「不妊治療における夫婦の絆を深める看護とは」

—不妊治療を行う夫婦のカウンセリングを考えよう—

不妊の問題は夫婦の問題です。ご夫婦に向き合い、より良い決定ができるような夫婦に視点をおいたカウンセリングについて学ぶ機会にしましょう。

【内 容】1. 不妊症看護認定看護師の実践報告会（調整中）

質疑応答

2. 講演「夫婦カウンセリングから学ぶ夫婦支援」

Hummingbird 代表 臨床心理士 松本健輔 先生

質疑応答

スケジュール、申し込み方法等は、6月頃学会ホームページでご案内します。



理事会報告



第1回理事会

日時：2019年11月12日（火）15:55～17:45

場所：聖路加国際大学 本館6階 講義室A

出席者：上澤、森、坂上、柴田、清水、中村^番、村上、中村^真（書記）

【報告事項】

1. 第17回日本生殖看護学会学術集会の事後報告。
2. 第18回日本生殖看護学会学術集会の進捗状況。
3. 広報委員会：広報委員会活動計画およびNL発行計画案。
4. 教育推進委員会：第14回生殖看護実践セミナー開催の進捗状況。
5. 編集委員会：学会誌第17巻発刊に向けた準備の進捗状況および投稿既定の修正報告。
6. 実践開発委員会：Fine 祭りの不妊個別無料相談会の相談員派遣報告。

7. 将来検討委員会：研究活動促進のための研修会開催意向の報告。

8. 総務：会員管理、学会年間活動計画、理事会スケジュール計画の報告。

9. その他：学会事務局場所の移転計画の報告。

【審議事項】

1. 臨時理事会決議の敏速化：業務分担案を保留。
2. 入会審査：2名の入会を承認。
3. 教育推進委員会の会計：地区実践セミナーおよびポストコースの費用の運営を承認。
4. 成育基本法パブリックコメントを厚生労働省に提出を承認。
5. 学会費振込受け払い通知票の有料化に伴うインターネットバンキング等の契約を承認。

事務局からのお知らせ

1. 第18回学術集会、編集委員会への問合せは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
2. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、HP、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mail もしくは Fax で、気軽にご連絡ください。
3. 学会の年会費は8,000円です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めにお願ひ申し上げます。
4. 異動・転居された方は必ず事務局までお知らせください。住所・勤務先変更届はホームページからダウンロードできます。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌をお届けすることができませんので、ご協力お願い申し上げます。
5. 会員数353名（2019年12月24日現在）です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。
6. 2020年4月1日より事務局が移転します。新事務局の住所と電話番号は下記のとおりです。

日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing : JSFN
 〒104-0044 東京都中央区明石町10-1
 聖路加国際大学内
 TEL & FAX 03-5550-2293 E-mail : jsfn@slcn.ac.jp
 ホームページ <http://jsfn.umin.jp>
 口座番号：00170-2-333414
 加入者名：日本生殖看護学会

移 転 先

〒152-8558 東京都目黒区東が丘2-5-1
 東京医療保健大学内
 TEL 03-5779-5032（内線216）
 FAX 03-5431-1481
 E-mail: jsfn@thcu.ac.jp

●次号の原稿締切日

ニュースレター第56号の原稿締切日は、2020年5月18日（月）を予定しています。
 会員の皆様にお知らせしたい情報などがございましたら、広報委員会（jsfn.koho@gmail.com）までご連絡ください。

◆編集後記

中国で発生した新型コロナウイルス感染症が世界中に拡散されており、ドラッグストアやコンビニエンスストアではマスク、手指消毒薬などの売り切れが相次いでいます。またその陰で、国内ではインフルエンザも例年通りに蔓延しているようです。春休みに旅行をお考えの皆様、くれぐれもお気をつけて楽しんでください！